

(様式3)

事業所名 グループホーム本荘やすらぎ苑

目標達成計画

作成日: 平成30年10月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○利用者の希望の表出や自己決定の支援日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 ※利用者の希望の表出や自己決定の支援について、不十分な時がある。	・全職員が、利用者の希望の表出や自己決定の支援について、根拠を理解し、対応出来るようになる。	・自己評価及び外部評価結果を全職員が確認し、バisstekの7原則等を再学習する場を作る。	5ヶ月
2	43	○入浴を楽しむことができる支援 ※出来るだけ利用者の希望に沿うように対応しているが、職員の声掛けで入浴対応することが多い。入浴していない方、優先で職員の声掛けで入浴していることが多い。曜日は決めていない。週に2回～3回の入浴となっている。	・全職員が、入浴を楽しむことができる支援について理解すること。どういった声掛けや対応が望ましいのか検討して、対応に繋げることが出来る。	・自己評価及び外部評価結果を全職員が確認し、入浴を楽しむことができる支援について、再学習する場を作る。	5ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。